



議会のうごき

ACTION

1月

- 7日(水) ◆ 広報調査特別委員会
- 8日(木) ◆ 和町道路整備推進委員会
新春挨拶周り
- 15日(木) ◆ 広報調査特別委員会
- 16日(金) ◆ 議会運営委員会
- 19日(月) ◆ 全員協議会
◆ 平成27年第1回臨時会
- 26日(月) ◆ 和町議会議員研修会

2月

- 18日(水) ◆ 全員協議会
- 26日(水) ◆ 議会運営に係る研修

3月

- 2日(月) ◆ 和町道路整備推進委員会
要望活動
- 3日(火) ◆ 議会運営委員会
- 6日(金) ◆ 全員協議会
- 11日(水) ◆ 平成27年3月定例会(上程、
一般質問)
- 12日(木) ◆ 平成27年3月定例会(一般
質問)
- 13日(金) ◆ 平成27年3月定例会(一般
質問)
- 17日(火) ◆ 常任委員会
- 18日(水) ◆ 常任委員会
- 20日(金) ◆ 平成27年3月定例会(審議・
採決)

編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 豊後 力 |
| 副委員長 | 蒲池 恭一 |
| 委員 | 荒木 拓馬 |
| 委員 | 小山 暁 |
| 委員 | 森 潤一郎 |
| 委員 | 生山 敬之 |

数でなく、感動で人を巻き込み、動かす、議会を熱のあるライブ感に誘われ、議会によく伺います。議会運営の手練れの方々が多く、活気ある主張の応酬は、一見の価値アリです。

ただ、気になることが一点。議員の皆さんは、自分の主張を通すため、相手の頭の中心を想像し、相手の考えの盲点を突くことには長けています

が、プレゼンの手法が傍聴者には、ちと分かりづらい。例えば、予算案の修正を求める際、数字を延々と述べられた時は、時間が一瞬止まったのを覚えています。

一昨年「伝え方が9割」という本がベストセラーになりましたが、自分の意見を通すには自分の頭の中にある言葉をそのまま言い放つのではなく、主張のクライマックスをどう



傍聴席から一言

入江 真之 氏
(和町平野)

しても気になる事が一つあります。と前置き語を挟み、注意を引きつけ伝達する手法、自己主張だけでなく相手のメリットも文言に織り込む手法が人の心を動かすと記されています。数でなく、感動で、議論に町民を積極的に巻き込む議会を今後も期待しております。

人／事／案／件

3月議会定例会において、固定資産評価審査委員会委員及び教育委員会委員が、次のとおり同意されました。

○ 固定資産評価審査委員会委員
池田 國男(和町江田)
笠 輝博(和町岩)
盛多 真生(和町江田)
○ 教育委員会委員
坂本 浩暉(和町下津原)

編集後記



精一杯に膨らんでいた枝の蕾が一斉に花開き春爛漫の候となりました。町民の皆様には健やかに毎日をお過ごしのことと拝察いたします。昨年4月から編集委員として携わりあつという間の一年間でした。町民の皆様にも少くも多くの町政治に関心を持ってもらうために見易く、わかりやすく、取りつき易くをモットーにこの一年間の議会だより作り努力してきました。いかがだったでしょうか？

3月11日～3月20日の3月定例会は当所予算の一般会計が修正動議案可決(10名)

という議会の大きな要素であるチェック機能がいかんなく発揮されました。住民福祉実現のために議会側が町執行部をチェックすることは当然の権利であり義務であります。今後地方創生の時代に向けて課題は山積みです。議会人として町執行部に対して政策毎のはたき非々がより多く求められてくると思います。今後も見易く、わかりやすく、取りつき易くをモットーに議会だより作りを取組むことをお誓い申し上げ編集後記とします。

編集委員 森 潤一郎

